

# 札幌市立 きくすいもとまち幼稚園

〒003-0826

白石区菊水元町6条1丁目5-1

## 【地域の幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・中学校との連携の推進】

本園のある菊水・米里地区では7年前に「菊水・米里地区教育機関連絡会」を立ち上げ、札幌市立米里中学校、札幌市立米里小学校、札幌市立菊水小学校と近隣の保育園・私立幼稚園・こども園と共に地域の子どもたちの教育・保育の質の向上を目指して研究交流を行っている。

### 保育園との交流

年度当初、担任同士で顔を合わせて計画を立て、近隣の公園や互いの施設を行き来して関わる機会を設けた。季節に合わせて、水遊びや雪遊びなどを行っている。

### 中学校との交流

長期休業中の未就学児対象の園開放時にボランティアとして招き、交流している。幼児にとって普段関わるのが少ない中学生との交流は、貴重な経験となっている。

中学生は、各コーナーの遊びの担当となって幼児と関わったり、全体への出し物のペープサートを行ったりして幼児と触れ合った。

### 小学校との交流

近隣の米里小学校と交流をしている。今年度も、5年生が中心となって計画を立ててくれた。交流の数日前に5年生が幼稚園に来園し、交流内容や小学校について伝える機会をつくったことで、交流への期待が高まった。当日は授業体験や学校探検、給食体験、体育館での遊びなどを行った。

### 公開保育・公開授業（職員同士の交流）

公開保育や公開授業へ互いに参加し、意見交換や情報交換を行った。

近隣の米里小学校の保健主事に研究協力者として定期的に本園の保育を参観していただき、研究についてや幼児の育ちについて意見をいただいた。



【授業を体験】



【公開保育の様子】

## 【成果】

- ・ 保育園との継続した交流では、幼児同士だけではなく教師と保育士同士の信頼関係も深まり、より具体的な計画を立て、交流をすることができてきた。また、幼児同士の関わりは就学後までつながり、小学校で再会することを喜び友達関係が広がるきっかけとなるなど成果が見られる。
- ・ 公開保育や授業公開などを通して、互いの教育や保育を知り理解を深めることができた。数年にわたり継続して見合うこと、話し合うことで、同じ地区の幼児を共に育てていくことへの更なる意識の高まりにつながってきていると感じる。
- ・ 5年生との交流では、園児にとっては、小学校入学への期待や憧れをもつ機会に、5年生にとっては、新入生への関わり方を考えたり優しさが芽生えたりするなど互惠性のあるそれぞれにとって成長のきっかけとなっている。
- ・ 中学生との交流では、職業体験があったことでボランティアへの意欲が感じられた。言葉掛けや遊びへの誘い方など自分たちなりに工夫しながら関わる姿が見られた。幼児たちは、中学生に甘えたり一緒に遊んでもらうことを喜んだりするなど、親しみの気持ちをもって接する姿が見られ、地域が一体となって教育を行っていることが感じられた。

## 【考察】

- ・ 幼児や児童の交流の中で、親しみや期待をもつ姿が見られることは、継続した関わりや交流が効果的であることのあらわれである。今後も互いの成長につながるような内容を考え、計画的に交流することが必要である。

## 本郷幼稚園

〒003-0024

白石区本郷通 6 丁目南 4 -17

### 【小学校との連携】

- ・ 年長児と 1 年生が毎年交流をしています。  
広い体育館でゲームをしたり、製作を一緒に行いました。
- ・ 卒園後、入学する園児が多い事や、運動会でグラウンドを借りている等、日頃からの関わりが深い小学校と連携をしています。



【校内を案内してもらっている写真】

### 【成果】

- ・ 連携することで、小学校への期待が高まり入学を楽しみにできる様になった。
- ・ 小学生と関わりをもつことで、入学への不安が和らいだ。

### 【考察】

- ・ 継続する事で、子どもの育ちの繋がりも継続できる。
- ・ 園児の成長を小学校にも見てもらう事でスタートカリキュラムの見直しの参考にもなるのではないかと思います。



# 札幌白樺幼稚園

〒003-0023

白石区南郷通18丁目北 5-5

## 【大谷地小学校との連携】

「年長児と5年生との交流」《年3回を予定》  
安心して年長児が入学できるよう、5年生の生徒が様々な遊びを考え、交流を図る。

- ① 小学校で園児が小学校に行き遊ぶ
- ② 5年生が幼稚園に来園
- ③ 園児の小学校訪問

### <連携の様子>

- ・ 年長児・5年生が数名ずつのグループを作り、同じグループの5年生が考えたゲームや遊びを通して交流を深める。
- ・ 18グループがそれぞれ大谷地小学校のグラウンドで「鬼ごっこ」「相撲」「サッカー」「電車ごっこ」「大縄跳び」「だるまさんが転んだ」等、様々な遊びをする。



【ゲーム例① 「だるまさんが転んだ」】

### <連携に至る経緯>

- ・ 小学校のカリキュラムの一環で年長児との交流の依頼を受ける。
- ・ 小学校の担当教師が幼稚園に来園し、内容について話し合いをする。
- ・ 5年生がそれぞれ考えた遊びの中で年長児が出来るもの、困難なものを検討し、出来る限り実現できるよう検討。

### <連携先との関係>

- ・ 幼稚園の向かいに位置し、卒園児が入学する校区内の小学校。

### <成果>

- ・ 年長児のグループをクラス毎ではなく4クラス混合で作り、5年生との交流はもちろんのこと、他クラスとの交流も図ったことで、仲が深まった。
- ・ だんだんと緊張もほぐれ、寒い時期ではあったが時間が足りない位夢中になり、小学生に対して安心感をもつことができ、また、入学することへの期待も増した。
- ・ 卒園児が多くいたので、幼稚園時代からの成長した姿を見ることが出来た。

### <考察>

- ・ 当初、年3回を予定していたが2回となった。今年度は1回目が秋だったので、その後の園行事との兼ね合いから、幼稚園の施設内に5年生全員と年長児が交流するスペースを設けることが困難だったので、次年度は時期を早めて保育室・ホール・園庭等活動できる環境を整え、更に充実させていきたい。



【ゲーム例② 「相撲」】

## 【川北小学校5年生との連携】

卒園する園児が最も多く入学する川北小学校から今年度、5年生と年長交流のお誘いを受けました。

第1回目は12月7日。5年生の児童約140名が園に足を運んでくれました。この日のために、授業の中で園児とどんな遊びをするか、どのように進めるか等を沢山考えて、グループ毎に新聞紙ジャンケン、お絵かきクイズ、流行りのダンスを踊る等の楽しい内容で遊んでくれました。

2回目は2月13日、小学校に訪問させて頂きました。2回目も1回目と同様のグループ構成で楽しい遊びを提供していただきました。5年生の子どもたちは、自分のグループの園児の顔と名前を覚えていてくれており園児も1回目を思い出したのか、すぐに馴染んで遊んでいました。



【グループのみんなで お絵かきクイズ！】

## 【成果】

園児は、初め緊張している姿も見られましたが、遊んでいるうちに少しずつ打ち解けていました。最後の方では初めから知っていたかのように、お兄さんお姉さんに抱きついてくる姿も見られました。担任からは、私たちがあまり見ていない方が5年生の児童と伸び伸び遊んでいるのではないかと、という感想もありました。子ども同士の関わり合いの力の大きさを感じました。

## 【考察】

- ・今回、継続的な交流を初めて行ない、園児にとっても大変良い機会となりました。来年度以降も、是非このような交流に積極的に参加していきたいです。
- ・園児の振り返りの活動として、遊んでもらいどうだったか？反対に小学生に感想やお礼の活動ができれば良いと思ったので、今後の交流に活かしていきたいです。



# 学校法人北邦学園 東橋いちい認定こども園

〒003-0808

白石区菊水8条2丁目1-1

## 【小学校との連携】

### 札幌市立東橋小学校

#### \*連携の様子

- ・散歩で語らい広場へ（全園児）
- ・運動会でのグラウンド借用（全園児）
- ・避難訓練（全園児）
- ・一日授業公開日の参観（保育教諭数名）
- ・年長児のプール遊び
- ・学習発表会の児童公開日見学
- ・一年生と年長児との交流
- ・雪山遊び（1歳児～5歳児）
- ・学校見学（年長児）

#### \*連携に至る経緯

- ・小学校側の担当教諭と、園側の主任が年度当初に年間の計画を立てる

#### \*連携先との関係

- ・毎年卒園児が就学している
- ・園の向かいに小学校があり連携しやすい
- ・数年継続して交流できている

### 札幌市立幌東小学校

#### \*連携の様子

- ・学校行事「六輪カーニバル」への参加（年長児）

#### \*連携に至る経緯

- ・小学校側からお誘いをいただき、参加した

#### \*連携先との関係

- ・毎年卒園児が就学している

#### 【成果】

- ・連携を通して子どもたちが小学校への興味をもったり、期待感を高めたりすることができ、大変良い機会となっている。また、保護者にも大変喜ばれている。
- ・保育教諭たちにとっても、小学校を知る良い機会となり、就学前の園生活で大事にしたいことを考えるきっかけとなっている。
- ・卒園児の成長を見ることができ、大変嬉しく感じている。
- ・連携を継続することで、小学校と園とが互いに理解し合えるようになってきたと感じる。

#### 【考察】

- ・継続することにより、交流することが当たり前のようになり、自然な状態で行えることが大変良いと感じている。また、小学校と園が互いの負担にならないような計画にすることが、今後の連携を継続させていくことへと繋がると考えている。



【一年生と年長児との交流】一年生ってかっこいい！



【一年生と年長児との交流】

広い体育館でバナナ鬼をしました。



【六輪カーニバル】おまつり楽しかった！

# 東札幌かすたねっと保育園

〒003-0004

白石区東札幌4条4丁目6番16号

## 【東札幌小学校との連携】

≪7月≫ 1年生の授業参観に参加。

参観後に1年生の担任教諭と卒園児の担任保育士等との交流会。

≪11月≫ 1年生の学習発表会の総練習を年長児が観覧。

いくつかの保育園、幼稚園の年長児が顔を合わせる場となる。

≪1.2月≫ 5年生と年長児の交流。

○5年生が来園。

年長児と遊びを通して触れ合う。内容は保育園が計画。今回は伝言ゲームと空手教室体験。

○年長児が小学校へ訪問。

5年生が校内を案内。遊びを通して触れ合う。

## 【成果】

- ・保育園に来てくれたお兄さんやお姉さんと一緒に遊び、笑い合うことで小学校へ向けての期待が高まり、不安な気持ちも和らいでいる。
- ・難しいことを手伝ってくれたり「できる?」「大丈夫?」と気にかけてくれることにより安心感が生まれていた。

≪3月≫ 4月に入学する児童の引継。

## 【成果】

- ・子どもの個性について事前に引き継ぐ機会となり、職員も安心して送り出せる。

## 【全体を通しての成果】

- ・定期的に小学校に訪問する場を設けていただけることにより、職員間の相互理解に繋がっていると感じる。
- ・不安を感じている保護者の方に小学校の様子を詳しく伝えられるため、安心感を与えてあげられるようになった。

## 【考察】

- ・交流のための日程の調整が大変そうであったが、有意義な機会となるため今後も長く続けていきたい。

年間行事予定に組み込めたらお互いに予定が立てやすくなると考える。

- ・登下校時に顔見知りになった職員に挨拶をする児童もいて、地域の見守りとしてもよい取り組みだと思う。



【当園で5年生と伝言ゲーム】



【5年生と空手体験】



【年長児が小学校へ訪問】

## 【東橋いちい認定こども園との連携】

- 学習発表会での園児観覧
- 本校 1 年生との「なかよしの会」の交流
- 園児たちが本校を訪問し、学校探検を行う。
- グラウンドの貸与やプールの開放

## 【青葉保育園との連携】

- 運動会での幼児競技への参加
- 学習発表会での園児観覧
- 本校 1 年生との「なかよしの会」の交流
- グラウンドの貸与

## 【まこと保育所との連携】

- 学習発表会での園児観覧
- 5 年生が訪問し、来年度の兄弟学年としての顔合わせを兼ねた交流



【1 年生と園児たちの交流会】

## 【成果】

- 1 年生は、園児たちとの交流会に向けて主体的に準備したり、積極的に活動したりするなど、意欲的な態度がうかがえた。「自分たちがおもてなす」という意識で、見通しをもって活動する力が付いたことや、お兄さん、お姉さんとしての意識を高めることができた。
- 5 年生は、4 月に入学してお世話をする予定の園児たちと触れ合うことで、サポートをすることへの意識が高まった。4 月からの新 1 年生のお世話にスムーズに入るための心の準備ができた。
- 園児たちにとっては、本校に入学する園児が多いことで、就学に対する不安が少なくなり、安心して学校に行くことができている。
- 様々な活動を通して、保育園やこども園との連携が密になり、お互いの関係が深まり、距離が縮まった。

## 【考察】

- 児童と園児の交流だけでなく、教師間同士の交流がもっとあるとよいと感じている。新たな取組として、保育園やこども園を訪問して、普段の園児の様子を見せていただくことや、または訪問していただき、低学年の授業を参観するなどの場の設定があればよいと思われる。また、危機管理での情報を共有し、合同で避難訓練などを行うなどの検討をしていく必要があると考えている。

## 【しろいし幼稚園との連携】

### □連携の様子□

- ①運動会のためのグラウンド・プールの貸与  
(2016年6月25日)
- ②生活科「しろいしの町大好き」本校2年生児童訪問  
(2016年7月10日、9月9日)
- ③学習発表会練習見学のため園児来校  
(2016年11月9日)
- ④しろいし幼稚園教諭による授業参観および懇談会  
(2016年12月12日)
- ⑤新1年生引継ぎ  
(2017年1月17日)
- ⑥一日入学  
(2017年2月9日)
- ⑦1年生との交流活動のため年長児来校  
(2017年2月14日)



1年生と楽しく交流

### □連携に至る経緯および連絡先との関係□

「学校法人新善光寺学園しろいし幼稚園」は、本校校区内にあり、本校より徒歩3分程度の場所に立地している。そのため、例年本校新1年生の3割～4割近くの児童がしろいし幼稚園の卒園児である。

そうしたいくつかの好環境を生かして、児童・園児の交流、教職員の交流、施設利用を通じた交流を行い、児童・保護者にとって幼小の接続がスムーズに行えるように連携を進めている。また、小学校としては、生活科の学習の中で、身近な人や地域との関わりを学んでいく場面としてカリキュラムの中に交流や訪問を位置づけている。



2年生生活科  
「しろいしの町大好き」  
幼稚園訪問・交流

### □取組の成果□

- 交流を通して、年長園児は入学への不安を取り除き期待感を膨らませることができているようである。
- 1年生児童にとっては、2年生に進級して先輩になることへのビジョンをもたせることができ有意義な交流となっている。
- 教職員がお互いの授業や保育の様子を見ることで、園児や保護者にとってスムーズに「幼-小」の接続ができるように配慮すべきことや相手から学ぶべきことが浮き彫りになってきている。
- 園児の様子を実際に見たり、園児の支援に必要な情報を交流したりする中で、入学後の個別の支援体制などについて小学校として準備を行うことができた。



幼稚園児学習発表会練習見学のため来校  
(2016年度は4年生見学)

### □今後の課題□

実際に参観することで、子どもの様子や授業・保育の実際をお互いに知ることができ、大きな意義があった。授業参観後、質疑応答や意見交流の場を設定し懇談を行うことで、有意義な時間をもつことができている。幼稚園の教員には見学していただいたが、小学校教員が見学に行くことができなかったため、次年度は、確実に行っていきたい。園児・保護者が安心して小学校へ入学ができるよう、教職員の交流・懇談の更なる充実を図っていく必要があると考える。



# 札幌市立大谷地小学校①

〒003-0026

白石区本通18丁目南1-1

【近隣の幼稚園・保育園との連携】

## ◎ぼくたち頑張っているよ！

園児が卒園し、小学校に入学後にどのような学校生活を送っているのかについては、卒園児担任としては気になるところ。本校の最初の授業参観や土曜参観、運動会や学習発表会には、児童の出身園に案内状を送り、児童の学校生活の様子を見に来ていただいている。

今年度は、運動会や土曜参観、学習発表会に多くの先生方に見に来ていただくことができた。



【みんなで一緒に考える】

## ◎わたしたちの劇を見てね！

11月中旬に行われる学習発表会。1年生にとって、大きな体育館での劇の発表は、初めてで不安もいっぱい。でも、声の大きさを意識した普段からの発表練習の成果を発揮するよい機会でもある。本番直前の1年生の総練習の日、毎年、大谷地たかだ保育園と札幌白樺幼稚園の年長組さんが先輩の練習の様子を見にきている。1年生は、先輩として立派な姿を見せようとこれまでの練習の成果を思い出し、いつもに増して真剣に発表に取り組んでいた。園児にとっ

ては、先輩たちへのあこがれと共に、自分たちの生活発表会にも生かせる場である。

## ◎みんなの入学を待っているよ！

5年生の総合的な学習の時間「TRY」では、今年度から『6年生へstep by step』として児童と園児の交流を行っている。2月までに合計2回の交流を行い、園児に学校生活への不安を払拭してもらい、併せて、6年生となる自分たちの意識を高めていくことがねらい。「初めまして。一緒に遊ぼう！」⇒「もうすぐ小学校だね」という各回のテーマで、子どもたちは相手意識をもち交流内容を考え、実際に体験して相手のこと・自分たちの姿を学んでいる。（詳しくは、2ページ目を参照）



【すっかり仲良し】

【成果】

学校と園が繋がっていることは、職員だけでなく保護者にとっても大きな安心につながる。また、交流を通して、学校のことを園児に知ってもらうだけでなく、学校としても入学してくる園児の様子を事前に把握することができるよい機会となっている。

【考察】

学校側の「スタートカリキュラム」と園側の「アプローチカリキュラム」の充実のために、職員同士の交流の機会を更に増やしていくことも今後必要である。

# 札幌市立大谷地小学校②

〒003-0026

白石区本通18丁目南1-1

【札幌白樺幼稚園・大谷地たかだ保育園との連携の実際】

## ・連携の様子

2学期に1回、3学期に1回実施。1回目は、いくつかのグループに分かれ、グループごとに顔合わせをふまえて活動した。自己紹介をしてから児童が用意した遊びを園児と一緒にやり仲を深めた。遊びの内容は、鬼ごっこ、だるまさんが転んだ、大縄跳びサッカー、転がしドッチボールなどがあった。普段はリーダー的存在ではなく頼られることの少ない児童も、園児に頼られることでそれに応えようと頑張っている様子が見られた。また、少し手加減をしたり、園児に伝わるようにゆっくりと話したりするなど丁寧に接する様子が見られた。2回目は、本校に園児たちを招き、器楽演奏や歌・ダンスなどを披露したり、学校の中を探検したりして、小学校への期待をもたせるようにしていきたいと考えている。

幼稚園・保育園は、年長児が対象。小学校は、来年度最高学年となる5年生が対象。

## ・連携に至る経緯

本校でこのような取組をするのは今回が初めてではあったが、どちらの園も快く引き受けてくださった。それぞれの園の年長児の中には本校に入学予定の子どももいるため、園児たちが小学校へ入学することへの期待をもってほしいとのねらいがあった。来年度6年生になる5年生児童は、新1年生となる園児と事前に関わっておくことで、最高学年に向けての期待や意欲がもてるようになることをねらいとして取り組んだ。

## ・連携先との関係

先にも記したが、本校に入学する子どもが多くいる校区内の幼稚園・保育園である。

## ・交流を通して

児童は、「懐いてくれた」「優しくできた」「可愛かった」「楽しんでくれた」など、園児との関わりを楽しむことができた。次回に向けて「優しく話す」「説明をわかりやすくする」「男女が楽しめる遊びにする」など意欲的な発言もあり、今後の活動にも生かすことができる。また、年齢差を考慮した運動や年長児の実態に合わせた遊びを考えるなど相手を意識した活動を計画する力がついた。



【自己紹介の様子】



【ルール説明の様子】



【だるまさんが転んだの様子】



【鬼ごっこの様子】



【終わりのあいさつの様子】

# 札幌市立本郷小学校

〒003-0022

白石区南郷通10丁目南3-1

## 【東白石保育園との連携】

- < 1 学期 > □ 学校地域公開日での児童の様子への参観 □ グラウンド・校舎施設の貸出（運動会）
- < 2 学期 > □ 学習発表会（児童観覧日）で、1年生の発表を園児が観覧
  - 新1年生となる園児の保護者との懇談会 □ 6年生、でっち奉公で職業体験
- < 3 学期 > □ 本郷小学校教職員の保育参観

## 【本郷幼稚園との連携】

- < 1 学期 > □ 学校地域公開日での児童の様子への参観
  - グラウンド・校舎施設の貸出（運動会）
- < 2 学期 > □ 1年生と生活科での交流 手遊び・工作 ⇒⇒⇒
  - 6年生、でっち奉公で職業体験



## 【双葉保育園との連携】

- < 2 学期 > □ 学習発表会、年長児が1年生観劇

## 【南郷幼稚園との連携】

- < 3 学期 > □ 年長児学校訪問

## 【その他の機関との連携】

◎ 協議会～・研修 ・交流 ・引き継ぎ 等

○ 第1回白石区幼保小連携協議会 白石区民センター

・ 全体研修 ・ ブロック研修

・ 今年度白石区のテーマ

「ブロック協議会の充実（幼保小の連続性に視点を置いた連携を深める）」

○ 第2回白石区幼保小連携協議会 本郷小学校

・ 全体研修 ・ ブロック研修

○ 第3回白石区幼保小連携協議会 白石区民センター

・ 全体研修 ・ 引継 白石区 5園、豊平区 2園

## 【成果】

- ・ 子どもたち同士の交流活動が充実した。
- ・ 教職員の相互理解ができた。
- ・ 子どもの入学前後の情報交換ができた。
- ・ 今年度は、連携の輪が広がった。

## 【考察】

- ・ 小学校の冬休みの期間に教員が東白石保育園を訪問し保育を参観した。今後もこうした取組を継続し、連携を深めていきたい。